

展開の工夫



展開で大切なことは何ですか？

教材を活用し、教材に含まれる道徳的価値について自分との関わりで「**考え**」させ、様々な方法で「**議論する**」ことを通して、物事を**多面的・多角的に捉え**させることが大切です。

考え、議論した内容を基に、**自己を見つめ**、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深めさせます。



展開では、児童生徒が導入で持った問題意識をどのように深めさせていくかが大切です。下に示した**展開のイメージ**を参考に、学習過程や指導方法を検討してください。

展開のイメージ

授業の流れ「中学校 C-(13) 勤労」	
導入	○主題に関わる問題意識を持つ。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○自分との関わりで道徳的価値を理解する。 →自分の中の「働くことの大切さ」ことについて、登場人物に自分を関わらせながら考えさせる。 ○物事を多面的・多角的に考える。 →最後まで仕事をやり遂げた登場人物の行動には、どのような思いがあるのか、様々な立場や視点、角度から考えさせる。 ○自分の問題として受け止め深く自己を見つめる。 →登場人物の思いや他の生徒の意見を聞き、自分ならどうするのだろうと再度考える。
終末	○自分の持っていた価値観が、授業を通してどのように深まり、何が自分にとって大切なのか考え、児童生徒がそれぞれに納得解を導き出す。

このような展開にするために

○教材のどこを中心場面として取り上げたらよいのだろうか？
→**教材の活用**へ

○多面的・多角的に考えさせる発問はどうすればよいのだろうか？
→**発問づくり**へ

○板書をどのように生かしたら、児童生徒の思考が深まるだろうか？
→**板書の工夫**へ

○表現活動を取り入れて、登場人物の心情を実感的に理解させるには？
→**道徳的行為に関する体験的な学習**へ

○どのように話し合いを設定すれば様々な意見がでるだろうか？
→**問題解決的な学習**へ

展開五箇条

一 時間配分を意識して

・中心となる発問や活動に時間が取れるように。

一 少数意見も大切に

・様々な意見を受け止め、生かす。

一 学びの交流を

・様々な活動を通して互いの学びを交流させる。

一 つながりを意識して

・終末での深まりを意識した学習展開にする。

一 学級経営を大切に

・本音をぶつけ合い、本気で活動させるために。